記者配布資料

平成２４年１２月１３日

部　課　名	課長名	班長名	担当者職・氏名	連絡先・県庁内線
健康福祉部 健康増進課	原田　弘之	母子保健・感染症班 弘田　隆彦	主任 大塚　佳子	083-933-2956 内線2956
発表内容の関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩 、首都圏			

感染性胃腸炎の流行発生警報の発令について

感染性胃腸炎の定点当たりの報告数が、第49週（12月3日～9日）に23.50となり、警報の基準としている20人を上回りましたので、**本日（１２月１３日）、「感染性胃腸炎流行発生警報」を発令**します。

県下全域で感染が拡大しており、今後さらに感染の拡大が予想されますので、次の点に注意して、感染予防に努めましょう。

①石けんでよく手を洗いましょう。

②感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにしましょう。

使い捨ての手袋やティッシュペーパー（キッチンペーパー）などを使って処分しましょう。

嘔吐物のあった床などは、次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度0.02%：市販の塩素系漂白剤は250倍に希釈）で浸すように拭き、10分後に水拭きしてください。

③食品の取扱に注意しましょう。

食品は、中心部までよく加熱（85℃、1分間以上）しましょう。

④調理器具はよく洗って、殺菌しましょう。

熱湯(85℃、１分間以上）や塩素濃度0.02%の次亜塩素酸ナトリウム（市販の塩素系漂白剤を薄めたものなど）で殺菌しましょう。

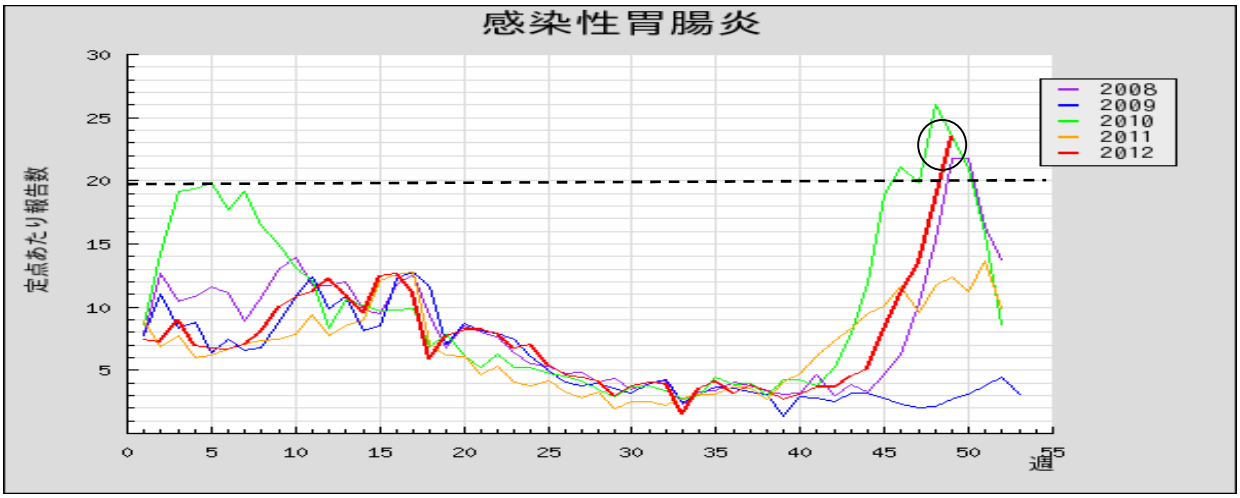
※　感染性胃腸炎とは

(1)病 原 体：ウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルスなど）
　　細　　菌（カンピロバクター、病原性大腸菌、サルモネラなど）
(2)感染経路：食品や水を介しての経口感染や吐物、便を介しての接触感染（二次感染）
(3)臨床症状：発熱、下痢、おう吐、腹痛など

【感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数】

区　　分	全　国（約 3,000 医療機関）		山口県（48 医療機関）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
第 47 週（11 月 19 日～11 月 25 日）	41,041 人	13.02 人	649 人	13.52 人
第 48 週（11 月 26 日～12 月 02 日）	56,677 人	18.00 人	886 人	18.46 人
第 49 週（12 月 3 日～12 月 9 日）	集計中	集計中	**1,128 人**	**23.50 人**

【定点報告数の推移】



【保健所所管区域毎の定点当たり患者報告状況】

週	区分(人)	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	県計
49	報　告　数	273	93	24	257	40	132	146	63	100	1,128
	定点当たり	27.30	18.60	6.00	32.13	13.33	26.40	16.22	31.50	50.00	23.50

※山口県感染症情報センターホームページ
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/graph/index2012.php?y=2012&w=49